

日本地域看護学会 第24回学術集会

日時：

【ライブ配信】9月11日（土）～9月12日（日）

【オンデマンド配信】8月27日（金）～9月26日（日）

開催方法：オンライン

テーマ：共生社会における新たな地域看護の挑戦

プログラム（予定）：学術集会長講演「共生社会を目指す地域看護」岸恵美子（東邦大学看護学部看護学部長）／特別講演1「日本の貧困の現状とこれから—地域における包摂」阿部彩（東京都立大学人文社会学部教授）／2「精神障害者を支える活動から『私たち』が、町で生き抜くための実践へ」長野敏宏（ハートinハートなんぐん市場理事）／3「地域共生社会の実現に向けて—世代をつむぐ、地域をつなぐ、循環する共生社会の創生」藤原佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム研究部長）／教育講演1「地域の健康行動を支える—自らの意志で健康向上や回復に向けて取り組んでいただくために」福田吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授）／2「クライシスマネジメントの本質—本質行動学による3.11大川小学校の研究から地域看護が学べきこと」西條剛央（Essential Management School代表）／3「重症心身障碍児者とその家族が災害の中で生きることを支える—東日本大震災での避難や生活の難しさから」山本美智代（東京都立大学健康福祉学部教授）／シンポジウム1「共生社会とwell-being（幸

福・健康）—つながりから共創へ」紅谷浩之（オレンジホームケアクリニック理事長）、福井大輔（株式会社未来企画代表取締役）、樋口千恵子（たんがく理事長）／2「地域包括ケアにおける看護職の役割—医療・看護・介護・福祉の連携・協働で目指す共生社会」野澤幸江（広島県西部保健所広島支所保健課健康増進係係長）、磐城美樹（榎葉町地域包括支援センターセンター長）、諏訪部高江（訪問看護ステーションおこSUN管理者）、力石泉（前豊郷病院地域包括統括部長）／3「新型コロナウイルス感染症対策の実践から学ぶ—私たちは何ができるか、これから何をすべきか」尾島俊之（浜松医科大学医学部医学科教授）、春山早苗（自治医科大学看護学部学部長・教授）、馬場順子（福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課参事）／4「看護基礎教育に必要な地域看護とは—地域・在宅看護論」の教育で目指す新たな地域看護」宮本千津子（東京医療保健大学千葉看護学部副学長）、河野あゆみ（大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学教授）、大木幸子（杏林大学保健学部教授）、宮崎美砂子（本学会理事長）／理事会企画セミナー「『Society5.0』の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題—ポスト・ウイズコロナ社会への転換を視野に入れて」乙部由子（元名古屋工業大学特任准教授）／パネルディスカッション1「共生社会を支える支援者同士の横のつながりづくりを考える」木村志義（ベガス代表理事）、高木智子（株式会社アルビオン本社健康管理室統括保健師）、並木美砂子（浦安市福祉部高齢者包括支援課課長）／2「コロ

ナ禍が進めた働き方改革—新たな働き方と産業保健看護活動」岡田睦美（富士通株式会社健康推進本部健康支援室室長）、松坂亜紀子（株式会社インテージ・アソシエイツ本社健康づくり推進部）、岡林知代子（東京海上日動火災保険株式会社人事企画部ウェルネス推進室）／指定集会1「地域での新たな看護の展開—看護を提供する多様な主体と、ともに支え合う地域づくりへの参画」矢田明子（Community Nurse Company株式会社代表）、小松亜矢子（横須賀まちの保健室プロジェクト）、川田貴久江（横須賀市福祉部健康長寿課介護予防係長）／2「どのように生きていくのか、健康的によりよく生きるを支える—新しい訪問看護の活用のある方」富田薫（千葉市保健福祉局健康福祉部部長）、平原優美（あすか山訪問看護ステーション統括所長）、阿部智子（訪問看護ステーションけせら統括所長）／3「地域における死別サポートの未来を考える」工藤朋子（岩手県立大学看護学部教授）、大島泰江（訪問看護ステーションコスモス主任）／篠原良子（家で死ぬるまちづくりはじめの一步の会会長）／4「共生社会の実現に向けた看護者の倫理」会田薫子（東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター特任教授）、手島恵（千葉大学大学院看護学研究院教授）、吉川久美子（日本看護協会常任理事）／研究力向上セミナー1「将来を見据えながら目の課題に取り組む実践研究—介護事業所との協働研究をCBPRの理論と視点から読み解く」成瀬昂（東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター特任准教授）／2「保健医療福祉における実証研究の理論と可能性—住民協働の健康まちづくりを例

に」今村晴彦（東邦大学医学部社会医学講座衛生学助教）／市民公開講座「人とのつながりが健康への近道—つながりと健康格差」村山洋史（東京都健康長寿医療センター研究所研究副部長）／一般演題／ワークショップ／共催セミナー／企業展示

参加登録期限：

【前期】 7月20日（火）

【後期】 9月23日（木・祝）

参加費：

【前期】 会員1万円，非会員1万2000円

【後期】 一律1万2000円

【学生（院生除く）】 3000円

※後期参加登録，学生は冊子送付なし

お問い合わせ：

【入会・学術集会全般】 株式会社ワールドプランニング

東京都新宿区神楽坂 4-1-1

☎ 03-5206-7431

✉ jachn24@worldpl.jp

【大会事務局】 東邦大学

東京都大田区大森西 4-16-20

✉ jachn24@ml.toho-u.jp

【オンライン開催担当】 株式会社ユピア

✉ jachn24@yupia.net

第29回日本健康教育学会学術大会

日時：9月11日（土）～12日（日）

開催方法：実地，オンライン

会場：青森県立保健大学（青森県青森市）

テーマ：わかっているけれど実践しない相手を動かすには？—現場×研究の力で，健康社会を実現する

プログラム：特別講演／学会長講演／学会奨励賞講演／シンポジウム／一般演題発表（口述，ポスター）／ラウンドテーブル／大会賞受賞式
※個々の発表についての形態（参集

方式あるいはオンライン，併用等）については検討中だが，ラウンドテーブルについては，完全オンラインでの実施を検討（申し込みの際は下記 URL で最新の情報を確認ください）。また，感染症の今後の状況によっては，プログラム内容を変更する可能性がある。

URL 29nkkkg.com

参加費（講演集代含む）：

【8月10日（火）まで】 正会員 6000円，非会員 7000円，学生（院生・学部生）3000円

【それ以降】 正会員・非会員 8000円，学生（院生・学部生）4000円
※講演集のみ希望の場合 1000円

払い込み方法：郵便振り込み（当日会場にて参加する場合には，当日現金でも受け付けれるが，オンライン参加の参加費は，9月9日〔木〕までの振り込みで締め切り）

学術大会事務局：青森県立保健大学栄養学科吉池研究室
〒030-8505 青森県青森市浜館間瀬 58-1（大会事務局長 竹林正樹）

☎ 017-765-4169

✉ 29nkkkg@ms.auhw.ac.jp

学会本部事務局：女子栄養大学食生態学研究室
〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21

✉ nkkkg@eiyo.ac.jp

第34回日本保健福祉学会学術集会

日時：10月2日（土）

開催方法：オンライン

テーマ：AI時代の保健・医療・福祉

プログラム：会長あいさつ 安梅勅江（筑波大学教授）／大会長あいさつ 渡邊多恵子（淑徳大学教授）／招聘講演「Artificial intelligence

and Social Work」Amarsanaa Gan-Yadam（Philanthropy Center for Children and Elderly, Director）／特別講演「人の可能性を広げる分身ロボット」吉藤オリィ（株式会社オリィ研究所代表）／ランチタイムミニコンサート 松井亮太（内閣府いのちを支えるプロジェクトキャンペーンソング「あかり」など）／一般演題発表／基調講演「認知機能を保ち暮らしを助ける AI ロボット」大武美保子（国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合センター）／シンポジウム「テクノロジーで広がる保健・医療・福祉の未来」武智峰樹（株式会社カルディオインテリジェンス取締役 CDO），道喜将太郎（筑波大学医学医療系産業精神医学・宇宙医学助教），伊藤史人（島根大学総合理工学研究科機械・電気電子工学助教），他

参加費：無料

※演題登録料 5000円（筆頭発表者のみ）

参加登録期限：9月30日（木）

演題登録期限：8月13日（金）正午

参加登録方法：下記 URL の参加登録フォームから

運営事務局：淑徳大学大学院看護学研究科・淑徳大学看護栄養学部
〒260-8703 千葉県千葉市中央区仁戸名町 673 淑徳大学千葉第二キャンパス

✉ hw34conference@gmail.com

URL www.fureai.or.jp/~tae/34th/index.html